

[2021年度スローガン]

新たな時代に光をしめす 真の先駆者となれ



1月号

AKITA

JCNEWS



2021年度 AKITA JCNEWS

◆所信

2021年度理事長／根田 絵美子

はじめに

2020年、突如発生した新型コロナウイルスは、私たちの生活、そして経済に大きな混乱を招き、それは世界各地、日本国、そしてこの秋田にも多大な影響を与え、今もなお先が見えない状況が続いています。

しかし、私たちは様々な手法を用いて生活様式や働き方を検討し、これを乗り越えようとしています。この厳しい状況においても人々は、変わらず周囲への感謝や思いやりを持ち続けられること、また、困難や不安が訪れても、強く生き抜こうとする力を持っているということに改めて気付かされました。

戦後まもなく発足された青年会議所は、どんな時代も、どんな危機も、青年の英知と勇気と情熱で乗り越え、常に一步先の未来を考え、住み暮らす地域のためにJC活動・運動を展開してきました。私たちも地域を牽引する世代となった今、輝かしいあきたの未来のために、次代のために行動していかねばならない責務があります。



「あたりまえ」が「あたりまえ」でなくなった時、新たな時代が始まります。そんな新たな時代のスタートに今私たちは立っているのです。さあ今こそ混沌という未知の可能性を切り拓くため、先輩たちから受け継いだ想いを胸に、そして輝くあきたの未来のために強い一歩を踏み出そうではありませんか。

SDGsの推進

2019年度、日本青年会議所は「日本で最もSDGsに取り組む団体となる」と宣言をし、我々秋田青年会議所もそれに則って運動をしてまいりました。私たちが発信するSDGsを含めた事業も重要ではありますが、地域住民一人ひとりにSDGsを知っていただき個々でできるSDGsを始めてもらうことで、秋田の社会環境・生活環境・自然環境などの全ての環境に好影響をあたえ、それがいずれ世界へとつながっていくと信じてSDGsを推進してまいります。

子供を未来へ導ける親の育成

子育ての過程の中で、様々な問題を抱える親も少なくないと思います。不登校や引きこもり、いじめ問題など、子供自身や子供間に起こる問題のほか、親からの虐待、過保護、過干渉など、親が子に与えるマイナス要素もまた、子供の成長に様々な問題を引き起こしているのです。そのため、親自身が「親の価値観」を育てていくことが子供に与える問題を取り除く上で非常に重要な方法であると考えます。未来を担う子供たちを、明るい未来へ導ける親の育成を目指してまいります。

未来を担う青少年の育成

秋田県では、若者の県外流出が続いています。しかしそれは、若者たちが自身の夢を叶えるための選択でもあり、とても素晴らしいことでもあります。ただそれを片道切符にしてしまうのではなく、地元に戻る選択を考えられるよう、あきたを愛する心を育み、近い将来、このあきたを担っていける人財へ成長できる青少年の育成を目指します。

会員の資質向上と会員拡大

時代とともに、この秋田青年会議所は大きく変化しています。また、年々会員数も減少し、毎年の会員拡大運動もなかなか成果を出せていないのが現状です。そこで会員のための学びの機会をさらに増やし、青年会議所に所属する一人ひとりが輝ける人となり、それが青年会議所の魅力となるよう、会員の資質向上に力を入れ、そして会員の拡大につながるよう努めてまいります。

公益社団法人から一般社団法人へ

2012年11月、我々は、公益社団法人格を取得し、公益事業の展開を続けてまいりました。しかし、今以上により良いあきたを創造するため、また、この先の秋田青年会議所の在り方を考え、一般社団法人格取得のための会議を重ねてまいりました。そして2021年1月より、一般社団法人秋田青年会議所としてスタートをしますが、私たちは公益社団法人でも一般社団法人でも進むべき道は同じであります。会員一丸となって新たなスタートを切り、明るい豊かなあきた実現に向けて活動・運動をしてまいります。

結びに

私は2008年に入会し、先輩たちから多くの経験と学びを与您いただきました。青年会議所で得られる経験や学びには、無駄なことは一つもありません。どんな小さなことも、苦難も、楽しいことも全て、経験そして知識として自分のものになったからです。

我々は日々学びながら明るい豊かな社会の創造を目指し活動・運動しています。しかし、学びを得ようとしない人間が、地域に何を発信できるのでしょうか。我々が学びながら成長していくことこそが、明るい豊かな社会に繋がっていくのです。そして長い歴史の中で受け継がれてきた伝統を守りながら、その時代に合った青年会議所の形が必要であり、その形を変えていくことが今重要であると考えます。我々は、青年会議所の意義や組織の在り方を見つめ直し、時代に合った新しい組織づくりをしながら、愛するまちあきたの未来とともに語り合い、強い一歩を踏み出すことで未来永劫輝くまちあきたの創造を目指してまいります。

◆初詣

専務理事／須崎 晃徳

新年1月3日（日）、根田理事長を始めとする理事会構成メンバーで秋田市新屋の日吉神社へ初詣に行っていました。

2021年度「新たな時代に光をします 真の先駆者となれ」をスローガンに掲げ、今年度の運動・活動の成功と安全、そして一般社団法人秋田青年会議所とフォローエリアの益々の発展を祈願していただきました。

ニューノーマルな時代だからこそできる運動・活動と先輩諸兄が紡いできた歴史と伝統、地域愛と想いを守り続け、青年経済人としての自覚と誇りを持ち、明るい豊かな社会の実現のためにメンバーが一丸となり運動に邁進してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



◆2021年度1月臨時総会を終えて

総務委員会 副委員長／靱山 信治



2021年1月14日秋田キャッスルホテルにて1月臨時総会が執り行われました。

昨年から続くコロナ禍の中、大変な時期ではございましたが、当会の最高意思決定機関として当日はメンバー皆で、議案の審議を行いました。総会の審議事項としましては2021年度の活動・運動を行うにあたっての予算の承認を行うことでした。2021年度もあきたの地域を盛り上げていくために様々な活動・運動を行っていく上で、予算をメンバー皆に承認をいただく必要があります。予算についての説明の後、審議を行い、満場一致で審議をいただくことができ、とても有意義な総会になったと思います。2021年度も今回の臨時総会を経て様々な運動・活動を展開していけたら良いと思います。

また、臨時総会に先立ち新入会員のバッジ授与式も行われました。5名の新入会員の方が根田理事長よりJCバッジを授与され、私達の新たな仲間として当会に入会されました。今後はJCの仲間として共に活動・運動を展開していきたいと思っております。

今年度もこの状況下ではありますが、会員全員で活動・運動を展開して、あきたを元気に出来ればと思います。